

高等学校数学解答用紙 (解答例)

その2

[2]

(1) [求め方]

曲線はx軸に関して対称なので、 $0 \leq \theta \leq \pi$ の範囲で考えればよい。

$$\frac{dx}{d\theta} = -\sin\theta(1 + 2\cos\theta)$$

$$\frac{dx}{d\theta} = 0 \text{ のとき, } \theta = 0, \frac{2\pi}{3}, \pi$$

$$y = \begin{cases} y_1 & (0 \leq \theta \leq \frac{2\pi}{3}) \\ y_2 & (\frac{2\pi}{3} \leq \theta \leq \pi) \end{cases} \text{ とおけば,}$$

求める体積Vは

$$V = \pi \int_{-\frac{1}{4}}^2 y_1^2 dx - \pi \int_{-\frac{1}{4}}^0 y_2^2 dx$$

$$= \pi \int_{\frac{2\pi}{3}}^0 y_1^2 \frac{dx}{d\theta} d\theta - \pi \int_{\frac{2\pi}{3}}^{\pi} y_2^2 \frac{dx}{d\theta} d\theta$$

$$= -\pi \int_0^{\frac{2\pi}{3}} y^2 \frac{dx}{d\theta} d\theta$$

$$= -\pi \int_0^{\frac{2\pi}{3}} (1 + \cos\theta)^2 \sin^2\theta \{-\sin\theta(1 + 2\cos\theta)\} d\theta$$

$$= \pi \int_0^{\frac{2\pi}{3}} (1 + \cos\theta)^2 (1 - \cos^2\theta) (1 + 2\cos\theta) \sin\theta d\theta$$

ここで、 $\cos\theta = t$ とおくと

$$V = \pi \int_{-1}^1 (1+t)^2 (1-t^2) (1+2t) dt$$

$$= \pi \int_{-1}^1 (1+4t+4t^2-2t^3-5t^4-2t^5) dt$$

$$= \frac{8\pi}{3}$$

である。

答 $\frac{8\pi}{3}$

(2) [求め方]

領域Dを $D = \{(x, y) \mid 0 \leq y \leq \sqrt{1-x}, 0 \leq x \leq 1\}$ とする。

求める体積Vは、

$$\begin{aligned} V &= \iint_D z dx dy = \int_0^1 \left(\int_0^{\sqrt{1-x}} (1-x^2) dy \right) dx \\ &= \int_0^1 (1-x^2) \sqrt{1-x} dx \end{aligned}$$

ここで、 $\sqrt{1-x} = t$ とおくと、 $x = 1 - t^2$ したがって、

x	0 → 1
t	1 → 0

$$V = \int_1^0 \{1 - (1-t^2)^2\} t (-2t) dt$$

$$= 2 \int_0^1 (-t^6 + 2t^4) dt = \frac{18}{35}$$

答 $\frac{18}{35}$

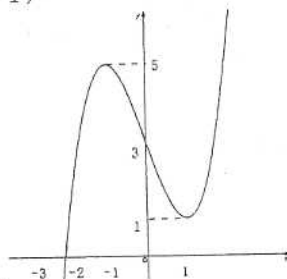
[3]

(1) [証明]

$f(x) = x^3 - 3x + 3$ とおくと、

$$f'(x) = 3x^2 - 3 = 3(x+1)(x-1)$$

x	...	-1	...	1	...
f'(x)	+	0	-	0	+
f(x)	↗	5	↘	1	↗



関数 $y = f(x)$ は $x = -1$ で極小値

5、 $x = 1$ で極大値1をとる。

グラフより、x軸との交点は1つ

なので、与えられた方程式の実数解はただ1つである。

(2) [求め方]

(1)の $f(x)$ において、 $f(-3) < 0$ 、 $f(-2) > 0$ が成り立つ。

したがって、 $-3 < \alpha < -2 \dots \textcircled{1}$

ゆえに、 $|\alpha|$ の整数部分は2である。

また、他の2つの虚数解を β 、 γ とおくと、解と係数の関係より、 $\alpha\beta\gamma = -3$

したがって、 $|\alpha\beta\gamma| = 3$

$\textcircled{1}$ より、 $1 < |\beta\gamma| < \frac{3}{2}$ を得る。

β と γ は互いに共役な複素数なので、 $|\beta| = |\gamma|$ である。

よって、 $1 < |\beta| = |\gamma| < \frac{\sqrt{6}}{2}$ となり、

$|\beta|$ と $|\gamma|$ の整数部分はともに1である。

答 $|\alpha|$ の整数部分は2、 $|\beta|$ 、 $|\gamma|$ の整数部分は1